

2025/2026 シーズン 2026 年 4 月公演

ガールズ＆ボーイズ

出演者発表&オーディション開催のお知らせ

真飛 聖、一人芝居に初挑戦！

ダブルキャストのもう一人の出演者はオーディションで決定します！



2026 年 4 月、新国立劇場 小劇場にて『ガールズ＆ボーイズ』を日本初演します。本作は、ミュージカル『マチルダ』の脚本でも知られる、デニス・ケリーが 2018 年に書いた一人芝居で、ロンドン・ロイヤルコートシアターにてキャリー・マリガン主演で初演されました。初演時には高い評価を受け、のちにブロードウェイでも上演されました。

ある一人の女性の人生を追いながら、愛、結婚、仕事、そして出会いと喪失を描く本作は、順調に見えていた人生が予期せぬかたちで崩れていく過程を通して、現代社会に潜むさまざまな歪みを浮き彫りにします。

2020 年にコロナ禍で中止となった本作を、新たな企画として上演します。**新国立劇場主催公演史上初の一人芝居**となる本公演の演出には、新国立劇場でも『私の一ヶ月』『誤解』で繊細な心理描写と大胆な空間設計を魅せてきた稲葉賀恵を迎えます。

そして、ただ一人の登場人物である主人公の女性役として、**真飛 聖**の出演が決定いたしました！

シンプルな構成ながら、俳優の身体性と語りの力が問われる濃密で挑戦的な本作。稲葉との初タッグにして二人三脚で創り上げる一人芝居に、どうぞご注目ください。

さらにこの度、本作により多面的な視点と深みをもたらすべく、**異なる年齢層によるダブルキャストで上演**いたします。その**もう一人の出演者は、これから開催する公募オーディションで決定**いたします。

出演が決定した真飛 聖、そして演出の稲葉賀恵からのコメントとともに、ぜひ御媒体にて本情報のお取り上げのご検討のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

<真飛 聖コメント>



一人芝居『ガールズ＆ボーイズ』のお話を伺った時、「え？1人で？1人だけで舞台を演るの？！」としばらくフリーズした事を今でもはっきり覚えています。ですが、読み始めたらもう止まらない！面白い！という言葉が簡単には使いたくないけれど、本当に面白かったんです。

そして、主人公の心の機微が大胆かつ繊細で、どうしても心が揺さぶられて、読み進めながら、既に私の心は 物語の登場人物として存在していることに気が付いて、「もうこれは、やらない理由が見つからない！」と、挑戦させていただくことを決めました！新国立劇場に立たせていただくのも、演出の稲葉さんとタッグを組むのも初めてです。

今年は芸能生活 30 周年という節目の年で、Live にも挑戦させていただきます。そして来年は一人芝居！原点でもある舞台にもう一度、魂注ぎ込んでみます。稲葉さんと、やれるだけやってみます！

みなさん、楽しみにしていただけただけなら嬉しいです！

【真飛 聖（まとぶ・せい）プロフィール】

1995 年、宝塚歌劇団に入団し、2007 年に花組トップスターに就任。11 年に宝塚歌劇団を退団後は、舞台・映画・ドラマなど多岐に渡り活躍している。これまでの主な出演に、映画『52 ヘルツのクジラたち』『マッチング』『ミッドナイトスワン』『娼年』、ドラマ『DOPE 麻薬取締部特捜課』『怪物』『情事と事情』『笑うマトリョーシカ』『君が心をくれたから』、舞台『多重露光』『雪やこんこん』『グッドバイ』など。

＜演出 稲葉賀恵コメント＞



『ガールズ & ボイズ』は、ある女性が自分の半生を語り始めることから始まる一人芝居です。彼女の口からは軽快でコミカルなものから、おおよそ想像を絶する信じられないことまで、さまざまな出来事が語られます。しかしこの作品で大事なのは、観客が、それらの出来事を語るその人の「今」の息遣い、表情、匂い、空気を共に共有し、彼女という他者の身に思いを巡らせ、想像をすることなのだと思います。

一人芝居を創作するのは初めてになります。間違いなく私にとっても高い頂になるこの作品に共に挑んでくださる仲間の一人に、真飛 聖さんが決定いたしました。映画などで拝見する潔く明朗な姿と、そこに隠れる暗がりのような陰。その姿に魅了されていた私としては、真飛さんとの創作に、すでにとても刺激的な時間になる予感を感じて胸が騒いでいます。

そして今回もう一人、この作品に共に挑んでくださる仲間を募集します。主人公から語られる言葉は時に刺激的であったり言葉を失うほどのものであったりしますが、きっと多くの方が彼女の姿の中に自分を見つけることが出来る物語です。この言葉たちを血肉化し、一人の女性として共に創り上げてくださる強力な戦友を募集します。私は出会いを求めています。どうか、会いに来てください。

【稲葉賀恵（いなば・かえ）プロフィール】

日本大学芸術学部映画学科卒。2008 年文学座附属演劇研究所入所。13 年に座員となる。同年 4 月『十字軍』にて文学座初演出。これまでの主な演出作品に、『リンス・リピート ―そして、再び繰り返す―』『オレアナ』『リタの教育』、ミュージカル『ラフヘスト～残されたもの』、音楽劇『不思議な国のエロス』～アリストパネス「女の平和」より～、『クレバス 2020』『ブレイキング・ザ・コード』『幽霊はここにいる』『加担者』『母 MATKA』『墓場なき死者』『熱海殺人事件』『野鴨』など。23 年、『加担者』『幽霊はここにいる』の演出で第 30 回読売演劇大賞優秀演出家賞受賞。新国立劇場では、『私の一ヶ月』『誤解』を演出。

オーディション募集概要

詳細：https://www.nntt.jac.go.jp/play/news/detail/13_030320.html ※9/5（金）AM5:00 に公開致します

＜公演概要＞

- ▶公演日程：2026 年 4 月
出演回数は、Wキャストの構成や演出意図を踏まえた上で決定いたします。（※必ずしも均等ではありません。）
- ▶稽古日程：2026 年 2 月下旬稽古開始予定 於：新国立劇場内リハーサル室
- ▶公演会場：新国立劇場小劇場

【募集内容】

「わたし」役 1 名

【応募資格】

▽下記条件をすべて満たしている方

- ・31 歳以上～40 歳まで
- ・舞台出演経験のある方
- ・2026 年 2 月下旬～4 月末までの稽古・本番すべてに参加可能な方

・オーディションに以下の条件で参加できる方

- ① 実技選考＝開催期間 10 月 29 日(水)～31 日(金)の3日間のいずれかに参加できること
- ② 最終選考＝11 月 3 日(月)に参加できること

【募集期間】

2025 年 9 月 16 日(火)12:00～10 月 3 日(金)23:59 まで ※オンライン受付のみ

< 『ガールズ & ボーイズ』 公演概要 >

【公演日程】2026 年 4 月

【会場】新国立劇場 小劇場

【作】デニス・ケリー **【翻訳】**小田島創志 **【演出】**稲葉賀恵

【出演】真飛 聖 他(Wキャスト)

【芸術監督】小川絵梨子 **【主催】**新国立劇場

【一般発売日】2026 年 2 月 11 日(水・祝)10:00～

【チケット料金】未定

【公式ウェブサイト】https://www.nntt.jac.go.jp/play/girls_and_boys/ ※9/5(金)AM5:00 に更新されます

ものがたり

人生、どうすればいいか分かんなくなった。
このままじゃだめだって思って。
だから、一人で旅に出たの。

そしたら、イタリアの空港で彼に出会った。まるで映画みたいに。
恋に落ちて、結婚して、二人の子どもも生まれて、仕事だって順調で……
すべてがうまく転がっていく気がしてた。

だけど、ほんのちょっとしたことで、少しずつズレ始めて。
気づいたときには——もう戻れない場所にいた。

これは、そんな「わたし」の話。

< 本件に関するお問い合わせ >

制作部演劇 広報担当:杉田 TEL:03-5352-5738 FAX:03-5352-5737